

福島県在宅保健師の会「絆」会報

福島県在宅保健師の会「絆」 会長 荒井 恭子

この三年、不安と不信の中で生活してきたように思います。いまだに原発も復興対策も進まない時間が過ぎています。会員の皆様、お元気にお過ごしのことと思います。

医療・介護等のマンパワーの不足の中で、お忙しくお仕事をされておられる会員の皆様もおられることと思います。

本会といたしまして25年度立ち上げました「保健師劇団」は好調なスタートを切り活動をしております。地域の皆様と関わる劇団の活動は、やはり楽しいものがあります。

在宅保健師の会「絆」としましては、劇団活動と四つの地区会の活発な交流会等をおして、参加会員が増え、また新入会員も増えていくことを期待しておるところです。

今後とも、福島県国保連合会の皆様のご理解とご支援を頂きながら活動をすすめて参りたいと思います。

鮫川村での公演から(25 年 12 月)



血圧の正しい
測り方は？

練習の成果
を発揮！

急性心筋梗塞で亡く
なる方が福島県では
全国 1 位 (H22)

ベテランぞろいの県中・
県南地区会の皆さん！

生活習慣病
高血圧

浜通り地区会の
皆さんです！



鮫川村の皆様・役場の担当の皆様 ありがとうございます。

平成 25 年度 特定健診等に関する在宅保健師等研修会 に参加して
浜通り地区会 保坂 真理光

平成 25 年 12 月 5・6 日、新潟市で開催された「特定健診等に関する在宅保健師等研修会」に会員 3 名と連合会担当者 2 名で出席しました。

太平洋岸から日本海側への移動で雪を心配しましたが、小雨程度でホッと安堵した 2 日間でした。

魚沼市で開業している上村伯人先生の講演『特定健診と糖尿病予防について』～ 地域に期待すること～では、HbA1c を 8% 以下にする 「プロジェクト 8」 を合言葉に医療者、患者、病院と診療所が連携して取り組んでおり、関係者の熱意だけでなく地域全体で意識の向上を図る必要性が結果に現れていると感じました。

特に上村先生の総合型地域スポーツクラブの考え方、しっかり噛んでご飯（米）を食べることに納得しました。

『弥彦村の特定健診未受診者対策』では、未受診者へのアンケートや訪問などさまざまな角度からアプローチした経過と活動が報告されました。未受診に対してはどこも頭を抱えている現状ですが、未受診者にはそれなりの理由があること、受診率に振り回されることなく「受けてよかった」という健診にすることが大切で、そのため受けやすい健診とする対策が発表されました。

退職した先輩保健師と現職保健師の活動では、地域を守る、住民を健康にという強いひたむきな思いが伝わりました。

国民健康保険中央会 企画・保健部次長 檜山氏の講演からは、退職後現場を離れ記憶が薄れていたが、国保の現状や将来を見据えた国の動きなど最新の貴重な情報を得られたことは大きな収穫でした。

2 日目は、福島県在宅保健師の会「絆」を代表し、菅野クニさんが『健康劇の取り組み～保健師劇団旗揚げまでの道のり～』と題して分かりやすく、そして前日に劇の一部を参加者で実施したこともあり、他県の関心を引く発表となりました。絆の会員みんなが参加できる劇に発展することを願いました。

研修会は専門職として活動、活躍した余韻を在宅保健師の心意気に乗せ、熱気あふれた実り多いものとなりました。



平成25年度 在宅保健師等研修会

健康劇の取り組み
～『保健師劇団旗揚げまでの道のり～』

福島県版「健康劇」の内容
婦人会の花植えを終えた帰り道50代の女性が3人...

健康劇「健康劇」の特徴
～『保健師劇団旗揚げまでの道のり～』

生活習慣病等のテーマ 選択理由

生活習慣病対策が急務！

平成 25 年度

福島県在宅保健師の会「絆」総会・研修会

平成 26 年 3 月 8 日(土)



平成 26 年 3 月 8 日(土) 福島市アクティブシニアセンター「AOZ」において開催されました。今年度は、会員の参加者 14 名でした。

午前に研修会を開催し、国保連合会副主査 武田晶子氏(保健師)から「福島県の特定健診受診率と健診結果」～市町村の取り組みと課題から～と題して講演をいただきました。

健診結果では、メタボ該当者とその予備群の割合が沖縄県について全国 2 位という説明には驚きでした。

午後からは、「絆」総会、浜通りの嵯峨圭子さんの議事進行で審議をいただきました。保健師劇団が、PR 公演や 5 回の講演が出来たことは、会員の皆様の強力なご支援があり、実現いたしました。次年度への第一歩となりました。次年度も新しいシナリオを作成し、より多くの会員が参加でき、地域の保健活動に寄与していきたいものです。



26 年度事業計画

- 「保健師劇団」の PR および公演
- シナリオ作成(「特定健診」で作成)
- 新規会員の募集を図る
- 会員の親睦を図る

26 年度総会・研修会の日程

平成 27 年 2 月 28 日(土) 予定

26 年度地区会活動日

- 県中・県南地区会 4/9・6/11・8/7・10/8～9・12/10・2/18
- 浜通り地区会 8/2・12/6
- 県北地区会 6/13・9/5
- 会津地区会 6/6～7

厚生労働大臣感謝状を受賞



～東日本大震災時の支援活動に対して福島県在宅保健師の会「絆」に感謝状が授与されました。～

26年5月20日（火）福島県在宅保健師の会「絆」役員会開催時、福島県保健福祉部馬場次長から、『感謝状』を、また福島県国保連合会二瓶常務理事からは記念品として、『額』をいただきました。

それぞれ荒井会長、斎藤副会長へ授与されました。

この感謝状は、「絆」会員が震災後、東電事故後の避難者に対し、会員それぞれの居住地で活動していただいた結果でいただいたものです。

紙面を借りて、支援活動にご尽力をいただきました会員の皆様へ御礼を申し上げご報告とさせていただきます。



募集中

新会員を募集しております！

仲間を増やしましょう！

豊かな経験を生かし、県民の健康づくりにお力を貸してください。

皆さんの近くに入会できる方がおられましたら事務局へお知らせ願います。

福島県在宅保健師の会「絆」 会報

平成26年7月 第13・14号発行

事務局 〒960-8043 福島市中町3-7

福島県国民健康保険団体連合会

事業振興課 保健事業係

電話 024-523-2754

掲示版



編集後記

皆様の健康劇依頼を待っております。県内各地で特定健診が始まっております。ポピュレーションアプローチや各種会合の前座などとして、健康劇を活用いただければ幸いです。少しでも県民の健康づくりにお役に立てればと願って活動しております。詳細は、事務局までお問い合わせ願います。さて今回の紙面はいかがでしたか？事務局の手づくりでなんとか・・・皆様のご意見をお待ちしております。

（事務局 YT）